

田儀公夫ニュース

日本共産党倉敷市議団

倉敷市船穂町
船穂 2521-10
Tel: 552-4249
Fax: 552-4249
Mail: jmrwx806@ybb.ne.jp



三月市議会

三月市議会は、二月二十一日（火）から三月十六日（金）までの期間で開かれました。

一般会計当初予算は、一千六百十六億一千余万円で前年比、六十三億円余りの減額、率にして三・八%のマイナスになっています。その理由として、四月の市長選挙があるため骨格予算としたとあります。

主なる事業

予算の主なる事業は、小・中学校校舎耐震化事業、津波・洪水・土砂災害ハザードマップの作成、浸水対策事業費、肺炎球菌ワクチン接種費用への公費助成、国保料を据え置いたための経費、高齢者等給食サービス事業、新規就農サポート事業、農作物鳥獣害防止事業、倉敷駅周辺区画整理事業、高梁川新架橋事業、学校問題支援事業などです。

学校耐震化100%は、二七年

今予算の小・中学校校舎耐震化事業費は十八億四千万円、これ耐震化率は八十%近くになり、すべて耐震化が終わるのは、平成二十七年度となっています。災害時の避難所となる少・中学校屋内運動場の耐震化はすでに完了しています。

幼稚園・保育園の耐震化は

未だ幼稚園・保育園園舎の耐震化は着手されていません。伊東市長は、「建物が低く比較的安心」としましたが、震度六程度の地震で、倉敷東・万寿東・葦高・中島西園舎・琴浦東西園舎は、倒壊、崩壊する危険性が高いと耐震診断が下されています。「高いか、低いかでなく」耐震診断で危険のものから、対策が求められています。

中学校の武道、延期へ

中学校では、この四月から武道が必修化される予定でした。武道は、柔道、剣道、相撲ですが倉敷市では、大部分が男子も女子も柔道を選択するとあります。調査によれば過去二十八年間で百十四名が死亡、二百七十五名が重い障害を負う事故が続いています。

共産党市議団は「柔道でこうした事故がなくならないのは、安全配慮に欠けた指導者の姿勢があるとの指摘がある、倉敷市での指導体制、安全対策は」との質問に、吉田教育長は、対策のため実施を9月まで延ばすとしてきました。その後、文科省も九月実施・延期の方針を出しました。

安全を優先したコンビナートを

JX社（株）水島製油所海底トンネル事故は五名の方が亡くなり、かってない大惨事となりました。私たちは、改めて水島コンビナートの安全性を質しました。

このトンネル工事、鹿島の請負額は十七・五億円です。十年前に掘った事故トンネル工事の北

三十メートルの同じ規模の第一トンネルの工事額は二十七億円でした。義務づけられていた地質調査も第一トンネルのデータを引用して使っています。

人命や安全より「コスト削減」を優先した結果、起きた事故と言えないでしょうか。もう一つは、今、進められている水島コンビナート総合特区計画の問題です。

この計画は、コンビナート全体を一つの企業体とみなし課せられている安全規制をはずし「コスト削減」を実現し国際競争力強化を図ろうとするものです。

「コスト削減」一辺倒では、働く労働者・住民の安全や命も守れないのではないかと、安全を軽視する総合特区の見直しを強く主張しています。

こんな議会に怒りが

市民から出された二つの請願。共産党以外の会派はすべて反対、理由も述べずただ否決です。請願内容は「国立病院南岡山医療センターを廃止しないで充実強化して下さい」もう一つは「医療現場では深刻な医師・看護師

不足医師・看護師を増して下さ
い」との声を、国に働きかけて
というものです。市立児島病院
も同じ課題で苦しんでいます。
否決は、理解できません。

田儀公夫議員の質問

今議会では次の項目で行われま
した。議会の最終日には討論を
おこないました。

① 水島コンビナート総合特区
構想について

一、情報の公開を求める
二、規制の特例措置は防災に反
する

三、税制・補助金など市の支援
② 入札談合問題について

一、世論は徹底解明を求めている
二、談合情報マニュアルで解明
可能か

③ 小田川付け替え環境影響
評価方法書から

一、柳井原貯水池・高瀬通しに
ある土木遺産の保存を

二、水利権の保存を
④ 地域経済について

一、中小企業・農業の振興を
⑤ まちづくりについて

一、中心市街地活性化事業の効

果、区画整理事業について
⑥ 地域要望の実現を
道路管理、メロディーチャイム
の復活を、公共交通について



柳井原貯水池配水樋

近代の土木遺産の保存を

高梁川水系整備計画では、現在
の高梁川と小田川の合流点を
切り離し、小田川を今の柳井原
貯水池に引き込み、柳井原貯水
池を河道化し、合流点を下流
四・六kmに移す計画です。

この計画で今、環境影響評価が
おこなわれます。この区域には、
明治の終わりから大正年間に
高梁川を、二つの川から今の一
つ流れにした高梁川大改修で
造られた土木の構造物があり
ます。また、高瀬通し一の口水
門の周辺構造物が残されてい
ます。こうした近代の土木遺産
の保存を求めました。この右の
構造物は、水の百景で有名な酒

津配水樋門も同じ一連の構造
物なのです。高梁川大改修での
この付近の壮大な仕組みは、い
までも現在人の心を打ちます。

区画整理事業は住民合意で

倉敷駅周辺第二土地区画整理
事業では、市から換地計画案が
示され、市民・権利者から百十
二件の意見書が提出されまし
たが、すべて不採択です。区画
整理事業は、みなさんの減歩で
公共用地を産み出し、移転しま
す。意見があって当然です。
市は第三、第四、第五の区画整
理事業は計画段階とあります
が、住民の合意が必要です。

デマンドタクシー 愛称

雪舟くんを参考に

倉敷市周辺のお年寄りや交通手
段を持たない方の足をどう守る
かは切実な課題です。
総社市のデマンドタクシー制度、
愛称雪舟くんを視察しました。
総社市の面積は、倉敷市の三分
の二です。全体を五つのエリア
に区分し、市全体をカバーして
います。ダイヤは一時間毎で料
金三百円です。家の軒先まで来

てくれるものです。
倉敷市での周辺部では大変有効
なものです。倉敷市でも、こう
した制度の導入を求めました。

新規就農で枠広がる

今年から国の新規就農総合支援
事業が始まります。原則四十五
才未満の就農者に年間百五十万
円給付するもので就農支援の枠
が広がりました。十人分の予算
が上げられています。

メロディーチャイム

の約束は

船穂町で夕方、流れていた「夕
焼け小焼け」のメロディーチャ
イムの復活を求めました。この
復活は平成二十二年十一月七
日の船穂地域審議会で決まっ
ているものです。
船穂町で、この曲は、何十年も
前から日本の原風景を想起さ
せ、時を告げ、子どもたちを家
路に誘う、ふるさとの音色とし
て定着していたものです。約束
を守るよう求めました。
理由も述べず、検討させてほし
いだけでは納得が行きません。

